

平成25年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成24年10月31日

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス

上場取引所

コード番号 4761 URL http://www.kcs.co.jp

(役職名) 取締役社長 代表者

問合せ先責任者(役職名)執行役員経営企画部長

(氏名) 山本 修嗣

TEL 078-391-6571

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日

(氏名) 岸川 和久

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上記	盲	営業利	J益	経常和	J益	四半期糾	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,855	4.9	206	105.3	250	99.2	153	21.9
24年3月期第2四半期	9,393	△0.4	100	317.4	125	70.6	125	646.4

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 43百万円 (△49.5%) 24年3月期第2四半期 85百万円 (140.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.69	_
24年3月期第2四半期	11.23	_

(2) 連結財政状能

	総資産	純資産	自己資本比率			
	百万円	百万円	%			
25年3月期第2四半期	18,170	13,888	76.4			
24年3月期	18,692	13,912	74.4			

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,888百万円 24年3月期 13,912百万円

2. 配当の状況

2. 80 30 000	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円銭	円 銭	円銭	円 銭	
24年3月期	_	6.00	_	6.00	12.00	
25年3月期	_	6.00				
25年3月期(予想)				6.00	12.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日~平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上	高	営業和	刊益	経常和	刊益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通	期	21,700	5.3	550	33.9	600	30.0	320	61.5	28.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正内容につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	11,200,000 株	24年3月期	11,200,000 株
25年3月期2Q	494 株	24年3月期	494 株
25年3月期2Q	11,199,506 株	24年3月期2Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。 業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1.当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報 (その他) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社(以下、「当企業集団」という。)の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自治体向けのシステム機器販売が増加したことに加え、金融機関・一般法人向けシステム構築業務が増加したことから、売上高は9,855百万円と前年同四半期比462百万円(4.9%)の増収となりました。

また、損益面につきましても、増収効果に加えて、要員稼働状況改善などによる原価率改善を主因として、営業利益は206百万円と前年同四半期比105百万円(105.3%)の増益、経常利益も250百万円と前年同四半期比124百万円(99.2%)の増益となり、その結果、四半期純利益につきましても153百万円と前年同四半期比27百万円(21.9%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループ及び地域金融機関向けシステム構築業務が引き続き堅調に推移したことを主因として、売上高は2,756百万円と前年同四半期比176百万円(6.8%)の増収となりました。

公共関連部門

自治体向けのシステム機器販売が好調だったことを主因として、売上高は2,402百万円と前年同四半期比280百万円(13.2%)の増収となりました。

産業関連部門

システム機器販売及びシステム運用管理業務が減少しましたが、関西地区における一般法人向 けシステム構築業務が増加したことから、売上高は前年同四半期比5百万円(0.1%)増の4,696 百万円とほぼ前年同四半期並みとなりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期(7~9月)及び第4四半期(1~3月)に集中する傾向があり、売上高が第1四半期(4~6月)及び第3四半期(10~12月)において減少し、第2四半期(7~9月)及び第4四半期(1~3月)に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比522百万円減少して18,170百万円に、純資産も前連結会計年度末比24百万円減少して13,888百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.0%増加して76.4%となっております。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比527百万円増加して6,334百万円となりました。その内訳は、営業活動によるキャッシュ・フローが998百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローが247百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが224百万円のマイナスであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に発表いたしました通期の連結業績予想につきまして、売上高・営業利益・経常利益は変更しておりませんが、新たなキャリアへ挑戦する従業員の支援を目的とした「マイキャリアプラン(転進支援型早期退職制度)」を前期に引き続き実施することに伴い、加算退職金などの費用を特別損失として織り込んでいるため、当期純利益を50百万円(13.5%)減の320百万円に修正しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等 調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

3.四半期連結財務諸表 (1)四半期連結貸借対照表

		(単位:白万円)
	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	3,034
受取手形及び売掛金	5,366	3,887
有価証券	3,300	3,300
商品	180	257
仕掛品	319	553
貯蔵品	40	210
その他	1,039	943
貸倒引当金	8	6
流動資産合計	12,744	12,180
固定資産		
有形固定資産	3,336	3,435
無形固定資産	459	434
投資その他の資産		
投資有価証券	1,384	1,234
その他	776	893
貸倒引当金	8	7
投資その他の資産合計	2,152	2,119
固定資産合計	5,948	5,990
資産合計	18,692	18,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,872	1,419
未払法人税等	34	111
賞与引当金	673	550
受注損失引当金	-	5
その他	1,060	935
流動負債合計	3,640	3,022
固定負債		
退職給付引当金	279	314
役員退職慰労引当金	93	79
資産除去債務	10	4
その他	755	860
固定負債合計	1,138	1,259
負債合計	4,779	4,281

-	(単	ѝ	•	百	Б	Щ	١

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,536	9,623
自己株式	0	0
株主資本合計	13,820	13,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	17
その他の包括利益累計額合計	92	17
純資産合計	13,912	13,888
負債純資産合計	18,692	18,170

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間

		(<u>早位:日刀门)</u>
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	9,393	9,855
売上原価	7,598	7,938
売上総利益	1,795	1,917
販売費及び一般管理費	1,694	1,710
営業利益	100	206
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	17	24
不動産賃貸料	36	31
維収入	9	25
営業外収益合計	66	84
営業外費用		
支払利息	17	15
不動産賃貸費用	19	17
維損失	4	7
営業外費用合計	41	40
経常利益	125	250
特別損失		
固定資産除売却損	164	-
減損損失	1	-
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	165	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	39	250
法人税等	165	97
少数株主損益調整前四半期純利益	125	153
四半期純利益	125	153

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

- 1	単位	百万	ш١
(푸╙	ロハ	IJ

		(+12 : 17))
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	125	153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	110
その他の包括利益合計	40	110
四半期包括利益	85	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85	43

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半 期純損失()	39	250
減価償却費	386	336
減損損失	1	-
貸倒引当金の増減額 (は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(は減少)	33	122
受注損失引当金の増減額(は減少)	18	5
退職給付引当金の増減額(は減少)	113	34
受取利息及び受取配当金	20	27
支払利息	17	15
固定資産除売却損益(は益)	164	2
投資有価証券評価損益(は益)	0	4 470
売上債権の増減額(は増加) たな卸資産の増減額(は増加)	1,776 437	1,478 480
たな は は は は は は は は は は は は は	663	452
その他	132	22
小計	924	1,059
利息及び配当金の受取額		
利息の支払額	20	26 15
特別退職金の支払額	-	36
移転費用の支払額	-	52
法人税等の支払額	111	25
法人税等の還付額	-	41
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	53	86
有形固定資産の売却による収入	100	-
無形固定資産の取得による支出	53	77
投資有価証券の取得による支出	3	4
投資有価証券の売却による収入	0	-
その他の支出	107	101
その他の収入	2	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	114	247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	178	156
配当金の支払額	67	67
財務活動によるキャッシュ・フロー	245	224
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	457	527
現金及び現金同等物の期首残高	5,201	5,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,658	6,334
	- 0,000	0,004

(4) 継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計	ての他	口前	(注)1	計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	2,580	2,121	4,691	9,393	-	9,393	-	9,393
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	34	375	416	-	416	416	-
計	2,585	2,156	5,067	9,809	-	9,809	416	9,393
セグメント利益	460	233	400	1,094	-	1,094	994	100

- (注) 1 セグメント利益の調整額 994百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			・その他 倉	合計	調整額	四半期連結 損益計算書	
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計	ての他	ᄆᆒ	(注)1	計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	2,756	2,402	4,696	9,855	-	9,855	-	9,855
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	5	366	373	-	373	373	-
計	2,758	2,408	5,063	10,229	-	10,229	373	9,855
セグメント利益	512	170	468	1,151	-	1,151	944	206

- (注) 1 セグメント利益の調整額 944百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。